

産業建設常任委員会 12月9日

新しく生まれ変わるふるさと森林公園へ

ふるさと森林公園再整備計画（案）の概要について説明を受けた。
（そのほか、白鷹町食育・地産地消推進計画について説明があった）

【はじめに】

「町民の保健及び休養の場」としての「白鷹町ふるさと森林公園」の再整備と、「行政の補完機能」としての「白鷹町アルカディア財団」の位置づけを確固たるものにするため、再整備計画の策定を進めている。

質疑

委員 不採算部門の認識は。

当局 一番は風呂の管理である。源泉の温度が低いため昇温しなければならず、光熱水費がかさんでいると捉えている。

委員 施設の分散型と集約型を比較検討したようだが、保養センタ

ーまで大変遠いという課題もある。検証は新しい計画の中でどのようになされたのか。

当局 財団で検証している。一体型、分散型について策定検討委員会でも検討したが、パークゴルフ場の利用とその後パレス松風を利用される方もおり、一体型がいいという意見であった。

委員 利用者の利便性が大事かと思う。なるべく町民に利用してもらうための考え方は。
当局 魅力あるものとして、露天風呂が不可欠である。何らかのサービスを付けながら行っていくことも必要であると思う。



町民に喜ばれるパレス松風へ

委員 今回の計画では5年後にリニューアルオープンとあるが、もっとスピーディな対応で早くオープンできないか。

当局 町の6次総合計画などに基づき進める必要がある。前向きに取り組ませていただきたい。

委員 町民に喜んでいただけるようなパレス松風に生まれ変わってもらいたい。

当局 町民の皆さんによくやったといわれる施設にしていきたい。皆さんから知恵をいただきたい。

産業建設常任委員協議会 11月17日

産業振興を進めるために

白鷹町産業センターと白鷹町情報センターの管理について説明を受けた。

【趣旨】

情報通信の分野は進展が目覚ましく、多様な情報社会の中において、設立当初の目的を維持しながらも、情報センター単体としての機能・利用ではなく、産業センターと一元化し、一体的な管理を行うための条例を12月議会に上程するもの。

質疑

委員 現在の情報センターの職員数と主な業務内容は。

当局 情報センター自体にはいないが、産業センターと一体で2人マルチメディア室の貸し出しを行っている。

委員 産業センターの設立目的である、「産業の総合化を推進」という考え方は継続するのか。

当局 設立の考え方は、一体化後も引き続き継続したい。

